

正京の六地藏めぐり

六地藏とは、地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上の六道に迷い苦しむ衆生を救済せんと発願せられた仏さまである。

◎六地藏尊縁起

京の六地藏尊は、人皇五十五代、文徳天皇の仁寿二年(西暦八五二年)、朝廷に仕える参議左大辯、従三位小野篁（おののたかむら）公の作と伝えられる霊像である。篁は嘉祥二年(西暦八四九年)、四十八才の時、大病にかかり假死状態となった。夢遊の中に地獄の世界に行き、恐ろしい地獄の猛火の中に一人の尊き比丘（びく）ましまして、獄卒に苦しめられて悲鳴する罪人たちを慈悲のみ手に救い取り給うお姿を拝した。

比丘曰く「我はこれ地藏菩薩なり、昔、釈迦如来の滅後、末世（まっせ）の衆生を我に付託し給う故に、毎日もろくの地獄に入り、大神通力を以って罪障の人を救う、普く衆生を濟度するといえども、尚、無縁の衆生を救うこと難し、汝、娑婆世界にかえらば、一切の人々に、おのが犯す罪業の報いによって受けねばならぬ地獄の苦痛の恐ろしさを知らしめて、我に帰依（きえ）せしめよ」と。

篁は大悲の御心に強く感激して、末法の衆生に普く菩薩の御利益をこうむらしめんと発願された。そして、木幡山（こばたやま）の一本の桜の太木を以って六体の地藏尊像を刻み、木幡の里、即ち、現在の伏見六地藏の地に安置された。

七十七代、後白河天皇は深くこの六地藏尊を御信仰になり、宝祚長久、王城守護、厄病退散を祈願し、又、都往来する旅人たちの路上安全を願ひ、又、広く一般庶民に二世福楽の利益結縁の御心から、保元二年(西暦一一五七年)、平清盛（たいらのきよもり）に勅命し、清盛は西光法師に命じて、都街道の入口六ヶ所に六角堂を建てて、一体ずつ御尊像を分置された。『寛文五年(西暦一六六五年)六地藏縁起、六地藏大善寺所蔵』

これより京の宗教行事として広く庶民に親しまれる「六地藏めぐり」の風習が起った。

◎六地藏めぐり

伏見六地藏

奈良街道 〒612 8013 伏見区桃山西町二四 大善寺 ☎六一一―四九六六
六地藏尊発祥の地、附近に桃山城、桃山御陵がある。

鳥羽地藏

西国街道 〒601 8136 南区上鳥羽岩ノ本町九三 浄禅寺 ☎六九一―三三八一
当寺に袈裟御前のお墓がある。

八月二十二日夜に六斎念仏の奉納がある。

桂地藏

丹波、山陰街道 〒615 8071 西京区桂春日町九 地藏寺 ☎三八一―三三三八
本堂内東側に鎌倉時代の石像薬師如来を安置する。
附近には桂離宮がある。

常盤地藏

周山街道 〒616 8225 右京区常盤馬塚町一 源光寺 ☎八八一―六八〇七
当寺に常盤御前のお墓がある。

鞍馬口地藏

鞍馬街道 〒603 1839 北区鞍馬口通寺町東土善寺門前三六 上善寺 ☎三三二―一六一九
明治初年まで深尼（みどろがいけ）也（ほとり）の刃（やいば）があった。

篁は大悲の御心に強く感激して、末法の衆生に普く菩薩の御利益をこうむらしめんと発願された。そして、木幡山こばたやまの一本の桜の太木を以って六体の地藏尊像を刻み、木幡の里、即ち、現在の伏見六地藏の地に安置された。

七十七代、後白河天皇は深くこの六地藏尊を御信仰になり、宝祚長久、王城守護、厄病退散を祈願し、又、都往来する旅人たちの路上安全を願ひ、又、広く一般庶民に二世福楽の利益結縁の御心から、保元二年(西暦一一五七年)、平清盛たいらのきよもりに勅命し、清盛は西光法師に命じて、都街道の入口六ヶ所に六角堂を建てて、一体ずつ御尊像を分置された。『寛文五年(西暦一六六五年)六地藏縁起、六地藏大善寺所蔵』

これより京の宗教行事として広く庶民に親しまれる「六地藏めぐり」の風習が起った。

◎六地藏めぐり

伏見六地藏

奈良街道 〒612 8013 伏見区桃山西町二四 大善寺 ☎六六一—四九六六

六地藏尊発祥の地、附近に桃山城、桃山御陵がある。

鳥羽地藏

西国街道 〒601 8136 南区上鳥羽岩ノ本町九三 浄禅寺 ☎六九一—三八三二

当寺に袈裟御前のお墓がある。

八月二十二日夜に六斎念仏の奉納がある。

桂地藏

丹波、山陰街道 〒615 8071 西京区桂春日町九 地藏寺 ☎三八一—三五三八

本堂内東側に鎌倉時代の石像薬師如来を安置する。

附近には桂離宮がある。

常盤地藏

周山街道 〒616 8225 右京区常盤馬塚町一 源光寺 ☎八八一—六八〇七

当寺に常盤御前のお墓がある。

鞍馬口地藏

鞍馬街道 〒603 8139 北区鞍馬口通寺町東上善寺門前町三八 上善寺 ☎二三二—一六一九

明治初年まで深泥池ひなろいけの辺にあった。

八月二十二日夜に六斎念仏の奉納がある。

山科地藏

東海道 〒607 8044 山科区四ノ宮泉水町一六 徳林庵 ☎五八三—〇三五三

お堂の後に蟬丸(人康親王)の供養塔、茶所に四体仏の石仏がある。

毎年、八月二十二日より二十三日までの地蔵めぐりには、この六体地藏尊をめぐる罪障消滅、家内安全、無病息災、家運繁栄の祈願をこめて、昼夜巡拜者が続き、近年益々盛んである。昔から京の町々で子供を中心に地藏祭が盛んに行われるのも六地藏信仰に起因する。

◎お礼、お守り授与

参詣者は毎年、六色の六地藏尊お札を頂いて家の入口につるし、一年中の厄病退散、家内安全、福徳招来の護符とする。

◎初盆参り、水子供養

新亡精霊の初盆には水塔婆供養し、三年間巡拜すれば六道の苦を免れる。
又、お地藏さまは子供の仏さまである。不運な因縁により、この世に生れ出ることの出来なかった水子の供養にお参り下さい。

◎地蔵菩薩の利益

地蔵菩薩は、釈尊の滅後、末法濁患の世に於て、衆生を濟度せよとの大任を釈尊から受けつがれた仏さまである。今現に、六道能化の仏として大いに化益し給う。延命地藏経には、地藏菩薩を拜するものは十種の福を得る。

一つには女人安産、二つには身根具足、三つには諸病悉除、四つには寿命長遠、五つには聡明智慧、六つには財宝豊か、七つには衆人の愛敬、八つには五穀豊穰、九つには神明の加護、十には大菩提をさとする。

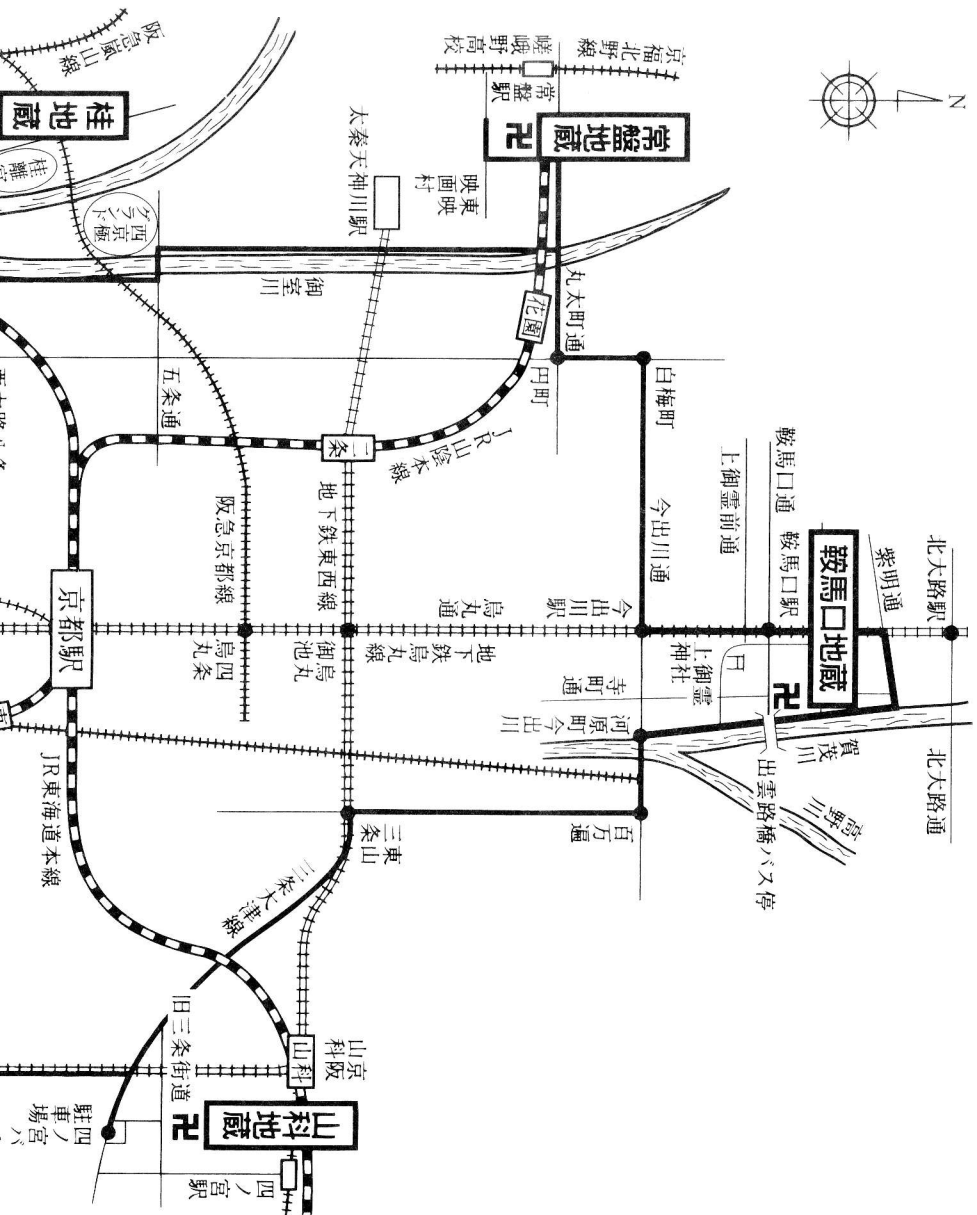
又地藏菩薩は、大地の仏さまである。建築の際、安宅地鎮の仏として家屋敷の安全、家内の安全、町内の安全を守護し給う。大地は宝の蔵であり、無尽の宝物を貯蔵してこれを万物に恵み与え、又、万物を発育、成長、開花、結実せしめる偉大なる不可思議力を与え給う。これ皆地藏菩薩の恩徳である。

又地藏菩薩は、子供の仏さまとして親生まれ、子供の無事安全成長をお守り下さる。

平成三十年

六地藏めぐりコース

六地藏会 発行



六地藏めぐりコース

